



# かとり 農業委員会だより

平成27年1月

No.25

編集・発行  
香取市農業委員会

〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127 TEL 0478-50-1226 (0478-54-1111 内線2871)



菅井富雄さん(香取市川上在住)が、日本一となった方から苗木を分けてもらい丹精込めて栽培したアトランティックジャイアントというカボチャ。

奥さんとお孫さんが並んでいるので大きさが判ると思います、重さはなんと260kgもあるそうです。

「今年は秋に実施される香取のふるさとまつりに合わせ種を蒔く時期を工夫し、300kgを目指して頑張りたい。」との意気込みを語ってくれました。

## 農業委員会会長挨拶



会長  
大須賀 常政

新年おめでとうございます。希望に満ちた新年を迎え、農家の皆様のご健勝とご多幸をお慶び申し上げます。日頃より農業委員会活動にご支援、ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

香取市は農業が基幹産業であると位置づけ、さまざまな農業施策を展開していますが、農従事者の高齢化や後継者不足、国際化に伴う農産物価格の下落など、近年農業情勢は厳しい状況にあります。特に平成26年の米価の暴落は、本市における農業経営の8割を占める稲作農家に大きな衝撃となっております。「このままではコメづくりを続けていけない」という声が聞こえています。稲作栽培に意欲をもって取り組めるよう、総合的な経営支援対策を香取市農業委員会として政府に建議いたしました。

規制改革実施計画が平成26年6月24日閣議決定されました。農業分野における規制改革は①農協の見直し②農業委員会の見直し③農地中間管理機構の創設④農地を所有できる法人の見直しこれらの見直しをセットで断行するということもであります。農業委員会は行政委員会として、現場における「土地と人」対策を通じて地域農業の維持・発展に向けて委員一同取り組んでまいりますのでより一層のご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

## 米価の長期的な安定、向上を求める建議書 提出

香取市農業委員会は、昨年12月定例総会において『米価の長期的な安定及び向上を求める建議』を決定し12月22日に大須賀会長より、安倍晋三内閣総理大臣へ提出しました。この建議は、農業委員会等に関する法律第6条第3項の規定に基づくもので、農業者の公的代表機関として委員会の区域内の農業及び農業者に関する事項について、行政に要望していくものです。

建議事項は、次のとおりです。

本市は千葉県北東部に位置し、市内北部地域には風情漂う利根川が流れ、南部地域は北総台地の一角を占めており、農業は基幹産業として成長発展してきました。

その中でも水田は日本屈指の水郷早場米地帯として7,963haにも及び、千葉県全体の10.3%を占め、県下最大の米産地となっております。

このところの農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や後継者不足により農業者数は減少傾向にあり、また、農産物価格の下落が進み、生産者の経営を圧迫しています。

香取市では市が農地利用集積円滑化団体となり担い手に農地の集約を進め大規模経営体の育

成を図るほか、地産地消の推進など独自の努力を重ねてきているところであります。

農業経営の安定なくして、地域経済本市の発展はありえない中、当年度の米価暴落は農業従事者にとって大きな衝撃となっております。

この事態を放置すれば、中核的担い手・集落営農者・若手農業者・法人さえもが米作りを見放してしまい、その結果として、農業人口の減少、高齢化、過疎化が進行する深刻な事態が懸念され、農村環境の悪化を招くものと思われれます。

よって、国においては、この農業の窮状に当たり、下記の事項を実現されるよう強く要望いたします。

### 記

1. 米価下落対策本部を立ち上げ、米価の実態を緊急に調査・把握し、緊急対策を実施すること。
2. 米の需給対策として、過剰米処理を行うこと。
3. 異常な米価であり、価格保障、所得補償で生産コストに見合う米価制度を確立すること。
4. 米価回復の諸対策を実施すること。

### 女性農業委員の活動報告

全国女性農業経営者会議「第19回全国の集いin千葉」に参加して！

農業委員 加瀬 由美子

昨年10月28日～29日ホテル日航成田で開

催され、参加者は全国女性農業経営者会議会員、女性農林漁業者、関係機関等、約260名にも及びました。

今回は、「ようこそ！ふさのくにinちば Part II」次世代につながる！女性の農

力&組織力」をテーマに、千葉県で開催する事となり我が県での開催は2回目となりました。

ベストパートナー賞の授賞式が始まり、福岡県の中島さん夫婦（養豚、水稲、麦、アスパラガス経営）が受賞されました。この賞は農業をしていく女性の立場として2人がパートナーとして尊敬、尊重し合い、地域の農業、農家の育成発展に協力していくという輝かしい賞です。夫婦がそういうパートナーになれる事は、とても素晴らしいと思います。

その後、講演「農業の成長は女性の力にあり！次世代を担う女性の農力」があり、引き続きパネルディスカッションとして「将来の農業を考える」がありました。パネラーは様々な農業分野、年代の5名によるもので、大変興味深い話や参考になる部分があり楽しく進みました。

食事をしながらの交流会もテーブルごとに和気あいあい、夜なべ談議としての交流も更に膨らみました。

2日目は、視察として多古町の篠塚さん宅「リーフファームみのり」の経営を学びました。その後、道の駅、水の郷さわらを自由見学して解散となりました。

今回参加して、全国のパワーある働く女性と交流する事ができ、お互いの励みとなる活力をもらい有意義な時を過ごせました。

# 香取のふるさとまつり

## 山田ふれあいまつり

山田ふれあいまつりが、昨年11月3日に開催されました。



写真中央のジャンボカボチャは 50.9 kg

特産品や地元農産物で作る五目おこわ、ゆで落花生などの加工品、各種展示即売が人気でした。今年もさまざまな団体によるイベントでにぎわいました。そんな中、農業委員会のブースでは、「ジャンボカボチャ重量当てクイズ」を行いました。

カボチャは、山田地区の農業委員と元農業委員が栽培しており、春に定植し、施肥、整枝、病気と予防を乗り越え、収穫を迎えた苦勞の結晶です。

当日は、ご家族、お友達など多くの方々にご参加いただき、試しに持ち上げて見る方もいましたがピクリとしか動きませんでした。重量を発表した時には、どよめきが起こり、賞品が当たるたびに歓喜の声で盛り上がりをみせました。

## 栗源のふるさとこいも祭

昨年11月16日、「栗源のふるさとこいも祭」が栗源運動広場で開催されました。



いも掘り体験広場

毎年、粉殻の山で5tのベニコマチを焼き上げ、来場者に無料配布する日本一の焼いも広場を中心に、新鮮野菜の即売、フリーマーケットなど子どもから高齢者まで楽しめるイベント盛り沢山の祭りです。

栗源地区の農業委員と元農業委員の手により、肥沃な畑で太陽の恵みをたっぷり浴びてつくられた「さつまいも掘り体験広場」は、多くの家族連れでにぎわいました。

現在はなんでもスーパーでそうう時代。ふだん食べるものがどんな風に実を結び、どんな風に収穫されるのか、知らない人も増えていきます。さつまいも掘りはそんな収穫体験ができる貴重な機会です。子どもも大人も掘り出すことに夢中になるうちに、普段は味わえない生きた経験ができたと思われれます。

秋晴れの中、来場者数7万人超えの過去最高を記録した「いも祭」は笑顔あふれる一日となりました。

## ふるさとフェスタさわら

ふるさとフェスタさわら2014は、昨年11月23日に香取コミュニティセンターにおいて、市民交流と地域産品PRをテーマに農業団体・商工団体等が出店して開催されました。



農業委員会ブースの光景

佐原地区農業委員会ブースでは、「農地・農政よろず相談会場」を開設。また、恒例の「大かぼちゃ重さ当てクイズ」「農業に関するアンケート調査」を実施し、大勢の方々が訪れ大盛況となりました。

大かぼちゃ重さ当てクイズにより入賞された方々には、市の農業委員や元農業委員有志より提供されたキウイフルーツやシクラメン、洋蘭など多くの賞品を受け取られ、喜びいっぱい笑顔でした。

また、来場者アンケートや、よろず相談においては、新鮮で安全な食糧の生産や米価、TTP問題など多岐にわたり関心の高いことがうかがえました。

香取市民表彰

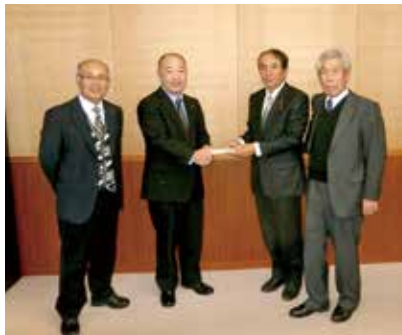
現在まで通算12年余にわたり、農業委員活動を通じて市政発展への功労が認められ表彰されました。



表彰者は、左から大須賀常政会長、多田晃一委員

香取市災害義援金のお礼と報告

『香取のふるさとまつり』で農業委員会ブースにおいて香取市災害義援金を募集しましたところ、多くの皆さんから温かいご支援をいただき深く感謝申し上げます。



山田ふれあいまつり 35,830円
栗源のふるさとイも祭 5,000円
ふるさとフェスタさわら 9,170円
11月28日、皆さまのご厚意を農業委員三役で市長へ手渡ししました。

【農業者との意見交換会】の開催

日時 1月22日(木)受付午後1時〜
場所 山田公民館(香取市長岡13032)
定員 100名

内容 ・農業情勢についての講演
・意見交換

当日は千葉県農業会議、香取農業事務所、市農政課、農協の出席も得て、皆さんが直面している課題、政策要望や提案などについて自由な話し合いをすることとしております。

参加希望者は農業委員会事務局までご連絡ください。

なお、この内容については、「広報かとり1月1日号」にも掲載してあります。

農業委員会事務局 ☎(50) 1226

農業者年金に加入しましょう

〈農業者年金6つのポイント〉

- 1. 農業者の方なら広く加入できる
2. 少子高齢時代に強い積立方式(確定拠出型)の年金
3. 保険料の額は自由(月額2万円〜6万7千円)に決められる
4. 終身年金。80歳前に亡くなられた場合でも80歳までの保証付き
5. 保険料の全額社会保険料控除などの税制面の優遇措置
6. 認定農業者など意欲のある担い手には保険料の国庫補助あり
農業者年金の内容やご相談については、農業委員会が最寄りのJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。
独立行政法人農業者年金基金

☎03・3502・3199

農地の売買・転用等の申請受付期間

(平成27年2月〜平成27年3月)

Table with columns: 年月, 受付期間, 総会開催日. Rows for 2月 and 3月.

※なお、右記の内容は香取市ホームページ「農業委員会事務局からのお知らせ」にも詳しく掲載されています。

全国農業新聞を購読しよう

『全国農業新聞』は、農業者の公的代表的機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門誌です。多くの読者の皆様に満足して頂けるよう家族全員が楽しめる記事も充実しており、農業者の「経営と暮らしに役立つ」ホットな情報を毎週金曜日にお届けします。購読料は月600円です。

(平成27年4月より700円に改定)

申込は、地元農業委員または事務局までお願いします。

編集後記

昨年末に衆議院議員総選挙が実施され、希望のある新年を迎えることになりました。強い経済、地方創生、農業改革の文字が報道の紙面を飾ることが多くなりそうです。香取市の農業委員は、本年が任期満了で改選になります。農業委員会は、本来の使命である農地を守ることを大前提とし、農用地の利用集積を推進しながら活動を行います。新規就農者、女性農業委員の活動、各地区の特質ある農業経営をしている方など、様々な情報をこれからも発信してまいります。

編集長 高木哲吉